

STOP! リニアフェス

リニアの計画沿線に住む10組のアーティストが一曲ずつ作った歌を収めた
CD「夢のリニア超特急」完成記念ライブ



2015年 11月14日(土)
午後1時開演(12時30分開場)
大田区民センター 音楽ホール

住所：大田区新蒲田 1-18-23
JR京浜東北線 蒲田駅 西口から徒歩15分
東急多摩川線・池上線 蒲田駅から徒歩15分
* 地図は右QRコード→



[LIVE]

メキシコトリオ：森田 修史 (sax)
岩見 継吾 (bass) 永田 真毅 (drums)

[TALK & 映像]

前島 久美「私たちの大鹿村」
～写真とコトバでつづる大鹿100景めぐり～

[TALK & 映像]

宗像 充「南アルプスの自然—その変遷」

[LIVE & DANCE]

水野 みさを 村岡“oharu”雄治

[LIVE]

Blues Boys 125 :
新井 武士 高橋 マコト
アコースティックギターデュオ

【写真展 南アルプスの自然の変遷】同時開催



◎ チケット料金：当日 1,200 円 前売り 1,000 円

◎ お問い合わせ：tez7@nifty.com (かけひ) ☎ 03-6303-8671 (奈須)

【主催】《STOP! リニア フェス》開催実行委員会

【賛同団体】リニア・市民ネット東京、リニア新幹線沿線住民ネットワーク、リニア・市民ネット大阪、日本自然保護協会、リニア新幹線を考える登山者の会

STOP! リニアフェス

CD「夢のリニア超特急」
完成記念ライブ

2007年12月JR東海は、東海道新幹線のバイパス路線としてリニア中央新幹線計画を発表しました。超電導磁気浮上方式の超高速鉄道(リニアモーターカー)によって、東京-名古屋間を50分で結ぶというものです。建設費が膨大で採算がとれないという財政問題のほか、在来新幹線の数倍といわれるエネルギー浪費、電磁波による人体への影響、南アルプス貫通による自然破壊など、問題は山積みです。

CD「夢のリニア超特急」は長野県阿智村に住むプロのミュージシャン 森田修史氏により、「沿線ネット」の訴訟などの支援のために企画されました。計画沿線に住む10組のアーティストが一曲ずつ作った歌を収録しています。例えば長野県のリニア非常口予定地に住んでいたため、農業ができなくなると早々に立ち退いた家族の長男(16歳)もアーティストの一人として参加しています。

この完成記念ライブでは、CD参加アーティストのうち、森田氏ほか2名が参加します。

profile

【LIVE】

メキシコトリオ

森田 修史 (sax もりた しゅうじ) 岩見 継吾 (bass いわみ けいご) 永田 真毅 (drums ながたまさき)



【森田プロフィール】2012年春に南信州の阿智村に拠点を移し就農、自給生活の試みを開始した。

音楽活動は2011年、東北の被災地へ無償で演奏を届けるジャズ・フォー・東北に参加。2011年結成のメキシコトリオでCD「滝の見える熱帯の風景」を2013年に発売。東京を中心に全国でツアー

を続けている。

今年6月、JR東海が進める中央リニア新幹線計画についての知らされざる現実を伝えるラップ作品「夢のリニア超特急」(Sasage Records)を予定沿線各地の先鋭的アーティストの協力を得て制作、発売した。

【TALK & 映像】

前島 久美 (まえしま くみ) 「私たちの大鹿村」 ～写真とコトバでつづる大鹿100景めぐり～



東京・ニューヨークでの生活を経て古郷・大鹿村に戻る。ヨガ講師を務める傍ら、家業の旅館「右馬允」でエコツアーリズムガイドも行う。2010年にリニア計画が具体化したのをきっかけに、「大鹿の100年先を育む会」を仲間とともに結成。大鹿村の植生調査を継続中。現在、村が設置したリニア対策委員会委員。

【TALK & 映像】

宗像 充 (むなかた みつる) 「南アルプスの自然—その変遷」



ライター。登山、環境、家族をテーマに執筆。大学時代に小渋川から荒川岳を登った記憶をたどってリニア新幹線取材し始めた。山岳誌にリニア問題を執筆している。著書に「子どもに会いたい親のためのハンドブック」。来年、二ホンオオカミの存否論争を扱った著書を刊行予定。

【LIVE & DANCE】



水野 みさを (みずのみさを)

22年間サンフランシスコ、ハワイ島生活後、帰国。古代フラを日本中で教えながら、平和・平等を歌うJ.レノン「イマジン」や、海でつながるアジアの平和を歌う内田ボブ「ヤポネシアフリーウェイ」にフラ振りをつけ、踊りで祈り伝える古代フラダンサー、クムフラ、アフロヘイシャンドンサー(水と虹の蛇の踊り)。

村岡“oharu”雄治 (おはる)

1980年結成以来35年以上にわたり、ロックバンドChina Catsのボーカル&ギターとして、No More War!! No Nukes!! Love&Peace!!をキーワードに、野外コンサートや各種イベントを中心に活動中。

【LIVE】



Blues Boys 125のように数字が付くのが正式な名称になる。これは2人の年齢を足した数字で誕生日が来るたびに名称が変わることになっている。もうこの歳になったら自分の好きな音楽をやりたい、やらせろ、を合い言葉に、楽しいライブを展開中。

Blues Boys 125 新井武士 高橋マコト アコースティックギターデュオ

新井 武士 (あらいたけし)

1951年東京都台東区三ノ輪生まれ。ダウン・タウン・ブギウギ・バンドにベーシストとして加入。「スモークン' ブギ」「港のヨーコ・ヨコハマ・ヨコスカ」と立て続けにヒット。日本レコード大賞企画賞受賞。紅白歌合戦に出場する。解散後、バブルガム・ブラザーズ・バンド、所ジョージ & nasty、BACA-BACCA、ZZZ、猫、等々のバンドに参加。かたわら、若手ベーシストの育成、作詞作曲活動、東へ西へとソロ活動にも力を入れている。

高橋 マコト (たかはしまこと)

1954年東京生まれ。16歳でデビュー。1979年後半もんだ&ブラザーズに参加。「ダンシング・オールナイト」「DESIRE」とヒットを飛ばし日本レコード大賞金賞受賞、紅白出場と話題をさらう。その後、久保田早紀、ジョー山中、等スタジオワーク及びツアーミュージシャンとして活動。

ライブ終了後は「ストップ・リニア訴訟! 東京 スタート集会!!」にぜひご参加ください!

11月14日(土) 午後6時~8時 大田区民センター 第9教室 【主催】リニア・市民ネットワーク東京 tez7@nifty.com (かけひ)

講師: 川村 晃生 リニア新幹線沿線ネットワーク共同代表「市民運動と訴訟」/ 関島 保雄 弁護士「ストップ・リニア訴訟の課題」講演後質疑応答